

## 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部  
氏 名 杉田 正明

活動テーマ	第19回ジュニアアスリートフェスティバル ～小学生の「走る」「跳ぶ」「投げる」機会の創出～
実施期間	平成26年11月15日（準備）～ 平成26年11月16日
活動内容	<p>本事業は、地域への貢献事業として、本学陸上競技部が中心となって、小学生を対象としたレクリエーションや「走る」「跳ぶ」「投げる」の三種競技のフェスティバルを本学の陸上競技場で開催するものであり、本年度で19回目を迎え、県内では晩秋の風物詩となっている。</p> <p>第19回ジュニア・アスリート・フェスティバルを三重大学陸上競技場で以下のような内容で、三重大学陸上競技部と津陸上競技協会が共催のかたちで実施した。学生達は小学生の低学年、高学年を対象とするプログラムを企画し実施するため、数ヶ月前から当日まで様々な準備（手作りのプログラム、製作物など）をして参加の小学生達を迎えている。</p> <p>【当日の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午前の部：低学年対象のレクリエーション 陸上競技場で走る・跳ぶ・投げる、のレクリエーション</li> <li>・ 午後の部：三種混成競技記録会（3,4,5,6年生対象） 3,4年生 50m、ボール投げ、走幅跳 5,6年生 100m、ボール投げ、走幅跳</li> <li>・ オープン種目：男子 50m、女子 50m（1,2年生対象）</li> <li>・ 男子 1000m、女子 1000m（5,6年生対象）</li> <li>・ 表彰式</li> </ul> <p>過去の参加選手の中には、陸上競技の全国中学チャンピオンをはじめ様々な種目で活躍する選手が数多くみられ、こうした機会の創出が子ども達のスポーツ全般への愛好的な態度を育み、本格的な運動参加への初めの一歩となり、生涯スポーツへの一助となることに大きく寄与している。学生達は地元の陸上協会の先生と緊密な連携のもと、競技会開催の段取り、準備及び広報活動を一から進め、授業で学習したことを活かした企画・立案～運営を実践するOJTとして貴重な機会にもなっている。本年は県内各地から約200名を超える参加者と併せて保護者、指導者の方々の来学があり、昨年より多くの参加がみられた。三重大学を拠点としたまさにスポーツを通じた地域貢献を担っているといえる。このフェスティバル参加者が本学に入学し、陸上部員として運営を支え、卒業後は体育教師になっている事例や、卒業して教員等になっているOB,OGも数多く運営協力してくれており、地域におけるスポーツを通じた好循環にもつながっている。来年度は20回目の開催となり、ゲストに為末大さん（元陸上競技400mハードルメダリスト）を招く予定である。</p>